

たい肥利用のポイント

化学肥料の高騰が続くなか、肥料費を削減する1つの方法として、たい肥の利用が挙げられます。種類やその特徴を理解し、上手に活用しましょう。

1 たい肥の種類と特徴

家畜ふん等の原料やもみ殻などの添加される資材により、成分や特性が変わります。目的に合うたい肥を選びましょう。

(1) 鶏ふんたい肥（発酵鶏ふん）

肥料成分が高く、化成肥料の代替として使用しやすいです。石灰含量が多いので、pHの高いほ場では施用を控えましょう。

(2) 豚ふんたい肥

鶏ふんと同様に肥料成分が高いです。

(3) 牛ふんたい肥

肥料成分は低く、効きは緩やかです。土壌改良剤としての効果が高いです。

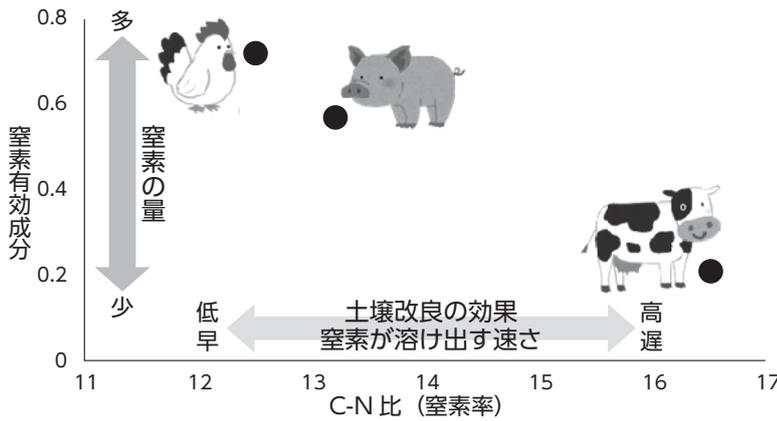


図 たい肥の肥料成分と土壌改良効果のイメージ

2 熟度について

未熟なたい肥は、微生物により発酵が進みます。この際に窒素が消費されるため、一時的に植物が利用できる窒素が不足する「窒素飢餓」が

起こることがあります。十分発酵したたい肥を施用しましょう。

3 施用量の目安

たい肥の施用量は、「全成分×肥効率」から算出します。率は表1を参照します。

なお、施肥窒素の全量をたい肥で施用すると、初期成育の遅れ等が生じることがあるため、窒素施用量の3/6割をたい肥で置き換えるようにしましょう。また、連年の施用や多量施用によ

り、土壌中の成分がアンバランスになることがあります。作付け前に土壌診断を行い、土壌中の肥料成分の過不足を把握しましょう。

4 散布方法

たい肥はマニアスプレッタによる散布が一般的ですが、ペレット状や粒状に加工されているたい肥であれば、ブロードキャスタによる散布も可能です。

また、たい肥生産者が散布も行っている場合もありますので、生産者へお問い合わせください。

5 情報提供

埼玉県ホームページには、たい肥生産者リストが掲載されています。なお、販売価格や運搬・散布方法等及び一般家庭菜園向けのたい肥販売については、必ず生産者に問合せの上、御確認ください。



たい肥生産者リスト

(大里農林振興センター農業支援部)



お問い合わせ先

大里農林振興センター
農業支援部
熊谷市久保島1373-1
TEL. 048-526-2210
FAX. 048-526-2494

表1 たい肥の肥効率 (%)

たい肥の種類	窒素	リン酸	加里
牛ふん	20	60	90
豚ふん	40	60	90
鶏ふん	50	70	90
生ごみ	30~50	80	90

表2 牛ふんたい肥の計算例 (めめま堆肥くんの場合)

	単位	窒素	リン酸	加里
含有量	%	1.2	0.6	1.8
肥効率	%	20	60	90
たい肥を 2t/10a 施用した場合	kg	4.8	7.2	32.4



夏季のねぎ病害虫防除管理



夏季は、気温が上昇して厳しい暑さが続いたり、集中豪雨が発生したりと、気象の急激な変化により病害虫の発生が問題となる時期です。薬剤の適期防除やこまめな雑草管理などの対策を行っていくことが重要です。被害が増大する前に対策を行いましょう！

1 病害

①白絹病（糸状菌）

- 株元の地際部付近に白色で絹糸状の菌糸、淡褐色球形の菌核を生じる（図1）。

- 梅雨末期から8月下旬にかけて最も進行する。乾燥状態のあとに過湿状態が続くと激増する。

- 敷きわらなどの未分解有機物を施用すると、そこで病原菌が増殖し多発生の原因となる。

- 地際部や周辺の地表面に白色の菌糸が生じたら直ちに株元散布を行う。

②軟腐病（細菌）



図1 地際部に生じた菌核（白絹病）



図2 倒れた発病株（軟腐病）



図3 白化した葉（ネギハモグリバエ）



図4 茎盤部に集まる幼虫（ネギネクロバネキノコバエ）

葉身の展開部に水浸状の病斑を生じる。地下部に発生した場合、茎盤基部の一部がやや褐変し、地上部は生育不良となる。進行すると株が倒伏する（図2）。

- 梅雨入り後から気温の上昇に伴って、被害が進行する。土壌湿度が高いと増殖や感染に好適である。

- 窒素質肥料を多用すると、生育が軟弱になり発病を助長する。
- 生育が不良で不揃いであるか、株全体が生気を失っていれば、発病の疑いがある。地際部を重点に散布する。

2 害虫

①ネギハモグリバエ

- 葉内を不規則に蛇行して食害する（白い筋状）。B系統は、複数匹ど

が1葉を食い尽くし、葉全体が白化する（図3）。

- 気温が上昇する梅雨明けから9月にかけて急増する。
- 予防散布には粒剤、株元かん注を主体として防除を心がけ、有益な土着天敵を温存する。

②ネギネクロバネキノコバエ

- 幼虫が地中で茎盤部や軟白部を食害する（図4）。激発するとほ場が坪枯れとなる。
- 3月中旬～12月上旬まで長く活動し、特に9月～10月に増加する。11月が成虫の発生ピークとなる。

- 発生初期に防除を徹底することが重要であり、8月末の株元かん注から、約3週間に1度のローテーション防除を行う。

表1 定植以降のねぎ病害防除薬剤例（令和5年6月21日現在）

RACコード	農薬名	対象病害名		使用方法	本剤使用回数	成分回数※1	同成分を含む薬剤の有無※2
		白絹病	軟腐病				
2	ロプラール水和剤	○		株元灌注	3回以内	イプロジオン4回以内	
3	モンガリット粒剤	○		株元散布	3回以内	シメコナゾール3回以内	○
7	モンカット粒剤	○		株元散布	3回以内	フルトラニル4回以内	○
14	リゾレックス粉剤	○		株元散布	3回以内	トルクロホスメチル3回以内	○
U18	バリダシン液剤5	○		株元散布	2回	バリダマイシン3回以内	
31	スターナ水和剤		○	散布	3回以内	オキシリニック酸3回以内	○
P02	オリゼメート粒剤		○	株元散布	2回以内	プロベナゾール2回以内	

※1使用方法ごとに使用回数がある。登録内容をよく読んで、使用回数を守る。

※2ねぎに登録のある薬剤に限る。○の付いている薬剤は、他の薬剤の使用回数も意識して使用する。

※3ネギハモグリバエに登録されている。

表2 定植以降のねぎ害虫防除薬剤例（令和5年6月21日現在）

RACコード	農薬名	対象病害名		使用方法	本剤使用回数	成分回数※1	同成分を含む薬剤の有無※2
		ハモグリバエ類	クロバネキノコバエ類				
28	ミネクトデュオ粒剤	○		株元散布	3回以内	シアントラニプロロール4回以内	○
4A						チアメトキサム4回以内	○
4A	ダントツ粒剤	○※3		株元散布	4回以内	クロチアニジン4回以内	○
4A	アルパリン粒剤 スタークル粒剤	○	○	株元散布	2回以内	ジテフラン 4回以内	○
4A	アルパリン顆粒水溶液 スタークル顆粒水溶液	○	○	株元灌注	1回		
15	カスケード乳剤	○※3	○	散布	3回以内	フルフェノクスロン3回以内	
30	グレーシア乳剤	○	○	散布	2回以内	フルキサメタミド4回以内	

★農薬使用時はラベルの記載内容を確認しましょう。★同じ薬剤、同じRACコードの薬剤の連用は避けましょう。★周辺作物への飛散防止に努めましょう。